

特別講演会 「箸にも棒にもかかる話 儲かるという字の中に商いの心がある」

一膳あればいいお箸をどうして売っているのか、2本で1膳、変えようがないお箸をユニークな発想で変え、新しい市場を開拓された現役社長自らが、その不況脱出のノウハウを熱く語ります。元気が出る講演です。

- 日 時 11月15日(土) 14:00～16:00
- 場 所 明石市立産業交流センター 2階 多目的ホール
- 講 師 箸匠せいわ 社長 木越 和夫 氏
- 主 催 明石市、(財)明石市産業振興財団
- 後 援 明石市商店街連合会
- 定 員 150名(事前申込み)
- 参加費 無料

神戸学院大学公開セミナー 「兵庫県の雇用・失業問題とその課題」

日本で近畿圏内は失業率が高いことで有名である。その近畿圏内の中でも、最も失業率が高いのは大阪府と、我々が住む兵庫県である。もっとも、大阪や兵庫は古くから失業率が高かったわけではない。全国的にみて失業率が相対的に高くなったのは1970年代以降のことである。この1970年代以降兵庫県の雇用に何が起こったのか。本講演では兵庫県の雇用と失業に関して、その問題の所在と今後の課題を整理して報告する。

- 日 時 11月27日(木) 14:00～16:00
- 場 所 明石市立産業交流センター 4階 研修室1
- 講 師 神戸学院大学 経済学部 教授 中村 恵 氏
- 定 員 60名
- 受講料 無料

専門技術講習会 『建設車両用タイヤの走行性能－タイヤはなぜ円いのか－』

本年度第1回目の専門技術講習会として、明石工業高等専門学校の都市システム工学科の教官による講習会を企画しました。

建設車両用タイヤ(ORタイヤ)は、軟弱な地盤から硬路盤まで苛酷な条件で走行できることが求められます。

今回は、建設車両用タイヤの製法、構造等を紹介し、軟弱地盤上における室内実験結果および硬路盤上における空気圧管理と磨耗・カットについて解説します。

- 日 時 12月12日(金) 14:00～16:00
- 場 所 明石市立産業交流センター 4階 研修室2
- 講 師 明石工業高等専門学校 都市システム工学科 講師 江口忠臣 氏
- 定 員 40名
- 受講料 無料

■申込方法 参加希望者は、氏名・住所・電話番号・勤務先を明記の上、下記申込先にFAXまたは電話にてお申し込み下さい。

■申 込 先 財団法人明石市産業振興財団
〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
☎078-936-7915 FAX078-936-7916

産業交流センターパソコン教室 12月コース



- * パソコンをはじめようとされる方
- * なかなか自習がはかどらない方
- * 新しいことをしてみたい方

……ぜひお申し込みください!

◆講習内容

コース名	講習内容	12月	時間	受講料 (税込)	テキスト代 (税込)
パソコン入門 3時間×2日コース	パソコンの基本操作習得。マウス操作・文字入力・ウィンドウの操作・アクセサリの紹介・環境設定などパソコンを使う上で必要なWindowsXPの各種機能や活用方法を学習します。	3日(水) 4日(木)	13:30 ~16:30	8,000円	1,785円
インターネット& 電子メール入門 3時間×2日コース	インターネットに必要な環境、接続方法などを解説し、ホームページの閲覧方法や電子メールのやり取りの方法をご紹介します。	10日(水) 11日(木)	14:00 ~17:00	8,000円	1,750円
Word2002基礎 3時間×2日コース	パソコンで文書を作成しようとする方へ。はじめてWord2002をお使いになる方を対象に、文字入力・基本的なビジネス文書作成・罫線・表現力をアップする機能・長文作成などをご紹介します。	10日(水) 11日(木)	9:30 ~12:30	8,000円	2,000円
Excel2002基礎 6時間×2日コース	パソコンで表を作成しようとする方へ。はじめてExcel2002をお使いになる方を対象に、Excelの基本操作である表の作成、印刷、グラフ、データベース機能などを紹介します。	17日(水) 18日(木)	9:30 ~16:30	16,000円	2,000円
Power Point 2002 6時間×1日コース	プレゼンテーション資料作成ソフトの習得 PowerPoint2002の基本操作を学習します。テキストボックスやオートシェイプ、グラフなどを使ったスライドの作成、アニメーション効果の設定といった会議などの発表に役立つプレゼン資料作成の機能をご紹介します。	19日(金)	9:30 ~16:30	9,000円	2,100円

◆マウス操作・キーボード操作をご存知でない方は、パソコン入門を受講願います。

お申し込みが少数の場合は、開催を見合わせる場合がございます。その際は1週間前にご連絡させていただきますのでご了承ください。

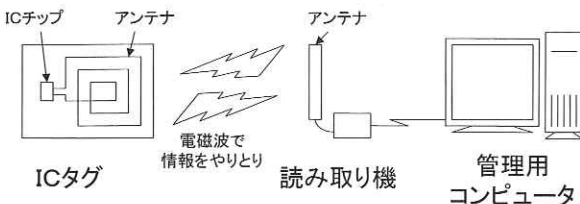
新しい科学◆技術用語の解説

「RF-ID」

首都圏のJRでは、切符や定期券を財布やパスケースから取り出さずに、改札機にかざすだけで良い「Suica (スイカ)」というシステムが、2年前に導入されました。これと同様の「ICOCA (イコカ)」というシステムが近畿圏のJRに、「PiTaPa (ピタパ)」というシステムが阪急と京阪に、まもなく導入されます。これらのシステムに共通している技術が、「RF-ID (Radio Frequency Identification: 無線を使った認識技術)」といわれるものです。

RF-IDのしくみを図に示します。情報を書き込んだ数mm角のICチップとアンテナとからなる「ICタグ」を、あらかじめ管理したいものに貼り付けておきます。読み取り機からの「データを読むよ」という電磁波を受けると、ICタグは持っている情報を読み取り機へ送ります。情報のやりとりに電磁波を用いるので、非接触で情報認識することができます。またバーコードなどと違い、表面が汚れていたり、梱包されていたりしても読み取ることが可能です。そしてなによりも、バーコードに比べて圧倒的に多くの情報を書き込むことができる、というメリットを持っています。反面、バーコードに比べて価格が高いため、コストに見合う用途を見出す必要があります。

現在その用途の一つとして、原料調達から生産、在庫、出荷、販売、入金までを一元的に管理する「サプライチェーンマネジメント (SCM)」に利用することが考えられています。特に食品分野では、BSE (牛海綿状脳症いわゆる狂牛病) を契機としてトレーサビリティ (商品などの原料から生産・流通までを追跡できる管理システム) の重要性が高まっていますし、それ以外の分野でも在庫管理能力を大幅に向上させることができると考えられるからです。また、ICタグを内蔵させた携帯電話に、プリペイドカードやクレジットカードの機能を持たせる構想もあります。



一方、悪意を持った第三者によって、ICタグからそれを所有する個人の情報が盗まれるといった危険性もあります。RF-IDシステムの実用化には、このような個人情報をどのように保護するのか、といった問題も解決しなければなりません。

図 RF-IDシステムのしくみ

解説者

兵庫県立工業技術センター 材料技術部 泉 宏和 氏

会社拝見

Vol.18

今回の会社拝見は、新キャタピラー三菱(株)明石事業所をお訪ねし、明石事業所長 長濱利夫氏にお話を伺いました。

Q：御社の事業内容をお聞かせください。

A：米国のキャタピラー社と日本の三菱重工、2つの世界的なメーカーの技術と文化を融合し、今年で40年になる総合建設機械メーカーです。当社の製品ブランドは世界統一モデルの油圧ショベル「REGA」シリーズ・世界一の実績をもつブルドーザ・革新機能満載のホイールローダなど、幅広い製品を豊富に取り揃えたCATブランド、中・小型の道路機械や小型ブルドーザ・ホイールローダなど多様な暮らしのパートナーをラインアップした三菱ブランド、さらに100%循環型社会を目指して様々なシーンで活躍する環境リサイクル機械のSOCIOブランドなどで、私たちのお届けする製品は、街中から大規模な工事現場まで、国内海外を問わず様々な場所で活躍しています。そしてこれらの製品のうち、油圧ショベル・道路機械・環境リサイクル機械の生産・開発の拠点である明石事業所と油圧ショベル開発本部（HEDC）が、ここ明石市にあります。

Q：御社の経営理念をお聞かせください。

A：当社は「最高の品質を持つ差別化された製品・コンポーネント・サービスをタイムリーに提供し、世界中のお客様の満足度向上に資することを使命とし、それを社員ひとり一人に徹底させています。これはCATブランドの大きな特長のひとつ、常に世界最高品質でなければならないという、妥協を許さないキャタピラー社の持つ製品思想からきているものです。私たちはこれを確実に受け継ぎ、さらに進化、発展させていくという気概を持って日々の仕事に取り組んでいます。

Q：御社のセールスポイントをお聞かせください。

A：当社の最大の特徴は、日米合併会社であり、設立以来両親会社の良い面を連続と受け継ぎ融合させ、発展してきたことです。キャタピラーグループの国際的な分業体制のもとにそれぞれの現地市場に適した製品を供給するという世界戦略の中で、当社の、明石事業所とHEDCは、油圧ショベルの生産・開発においてキャタピラーグループの中で極めて重要な機能を果たしています。明石事業所では機械加工から組立、塗装、テストまで一貫した生産を行い、キャタピラーグループにおける油圧ショベルのリーディングブランドとして、高品質・高性能な製品を生産しています。HEDCは油圧ショベルの世界的な製品戦略の立案、企画、基本設計などを一貫して行うとともに、各国で異なる市場ニーズに応えるコンポーネントやアタッチメントなどの開発、設計を行うキャタピラーグループ唯一の油圧ショベルの開発拠点です。このように当社は合併会社という強みを活かして、日本国内の市場をしっかりと見据える一方で、常に世界へと視線を向けてアクティブな展開を進め、世界マーケットを牽引する役割を果たしています。

Q：御社の地域との交流活動についてお聞かせください。

A：当社では企業も地域住民の一員であり、地域社会と共生を図り、ともに発展して行くことが必要であると考えています。地域清掃、老人介護施設へのボランティア活動の他、小学校等の工場見学の受け入れを行う等の活動のほか、夏恒例の納涼祭では地域の方々にも多数ご参加いただき、大変ご好評をいただいております。今後も地域の一員として地元の方々との交流をより一層深めていきたいと考えております。

Q：御社の今後の事業展開をお聞かせください。

A：今年には当社にとって40周年の記念の年です。当社はこれを「新たな飛躍の年」としてとらえ、お客様の拡大、取引先との連携強化、社員の意識改革、企業認知度向上を目指し、様々な活動に取り組んでいます。今後益々お客様のニーズが高まってくる様々な用途に対応する油圧ショベルの開発、循環型社会におけるリサイクル化の進展に対応できる幅広い環境リサイクル機械のご提供など、常にお客様の視点に立ち、お客様に満足して頂く製品作りに取り組んでいきたいと考えております。そして、グローバル戦略の面でもキャタピラーグループとの密接な連携のもと、成長著しいアジア・パシフィックエリアの中核拠点として、グローバルビジネスをさらに積極的に展開して行くこととしています。



明石事業所長
長濱 利夫氏

新キャタピラー三菱株式会社概要

・新キャタピラー三菱株式会社 明石事業所
事業所長 長濱利夫

所在地 明石市魚住町清水1106-4
従業員 約595名

・新キャタピラー三菱株式会社(本社)
取締役社長 広瀬正典

所在地 東京都世田谷区用賀4-10-1
資本金 231億円

従業員 約1,940名(単独)
※約5,250名(グループトータル)



CAT 油圧ショベル320C「REGA」

新着 図書のお知らせ

産業交流センター3階の情報ライブラリーでは、来館者に自由に閲覧・貸出できるよう産業関係のビデオソフトや図書を取り揃えています。この度、最新の話題作など新たな図書が入荷しましたのでお知らせします。ぜひ、研修等にご利用ください。

また、閲覧コーナーでは各種雑誌も揃えております。お気軽にお立ち寄りください。

図書

No.	タイトル	出版社
1	プロジェクトXシリーズ【厳冬黒部ダムに挑む 断崖絶壁の輸送作戦】	宙出版
2	プロジェクトXシリーズ【世界のテレビ塔建設・333の難工事】	宙出版
3	プロジェクトXシリーズ【クロネコヤマトの物流革命】	宙出版
4	プロジェクトXシリーズ【YS-1 日本初の国産旅客機】	宙出版
5	プロジェクトXシリーズ【液晶 執念の対決】	宙出版
6	プロジェクトXシリーズ【ロータリー47土 開発からルマン制覇への挑戦】	宙出版
7	プロジェクトXシリーズ【白血病 日本初の骨髄バンク】	宙出版
8	プロジェクトXシリーズ【ホテルニュージャパン 伝説の消防士たち】	宙出版
9	プロジェクトXシリーズ【魔法のラーメン 日清カップヌードル】	宙出版
10	プロジェクトXシリーズ【ホンダ マン島・オートバイにかけた若者たち】	宙出版
11	ブッタとシッタカブッタ②	MEDIA FACTORY
12	ブッタとシッタカブッタ③	MEDIA FACTORY
13	人事戦略イノベーション	同友館
14	星野仙一の「GM型」常勝革命	講談社
15	社長を出せ! 実録クレームとの死闘	宝島社

編集後記

出がよみがえることがあります。青いミカンを見て、運動会を思い出し、柿の実を見ては、祖父母と一緒に庭先の木から実を取っていたことを思い出します。最近では栽培方法も改良され、様々なものが年中手に入る時代になり、以前に比べて季節感が薄らぐ傾向にありますが、やはり旬のものは美味しいものですし、また、それによつて思い出や情緒も大切にしたいですね。

さて、紙面でもご紹介しておりますが、今月は、当センターの開設5周年記念事業の「産業フェア2003」を開催します。今回のフェアは、直接ものづくりに携わる方々だけでなく、ご家族みなさまで楽しんでいただけるような催しも、ご用意いたしておりますので、多数のご来場を心よりお待ちしております。

なお、今月は行事の関係で、パソコン教室は休講とさせていただきます。来月12月からは、従来どおり開講いたしますので、ご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

明石市立産業交流センター1F

喫茶カフェ・1F



コーヒー 300円
モーニングセット
ランチセット

各70ア〜へ出前致します(内税23)

AICC NEWS あいこく・にゅーす
発行日 第21号
2003年(平成15年)11月1日
発行 財団法人 明石市産業振興財団
明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
(明石市立産業交流センター内)
☎078-936-7915
☎078-936-7916
E-mail: info@aicc.or.jp
http://www.aicc.or.jp